

がんリハビリテーション

がんリハビリテーションとは

がんのリハビリテーション診療の定義について

「がんのリハビリテーション医療とは、がん治療の一環としてリハビリテーション科医、リハビリテーション専門職により提供される医学的ケアであり、がん患者の身体的、認知的、心理的な障害を診断・治療することで自立度を高め、QOLを向上させるものである。」

日本リハビリテーション医学会

当院での取り組み

がんリハビリテーション治療は『予防』、『回復』、『維持』、『緩和』の4つの段階に分けられます。

当院では、この4段階において以下のような介入をしています。

予防

- 食道がんにおいては術後の2次的障害予防のため運動指導を実施。

回復（治療）

- 消化器や泌尿器等のがんに対して手術後の早期離床を実施。
- 泌尿器ではERAS(術後3時間後の離床開始)、骨盤底筋群の運動指導。
- 頭頸部、食道などの機能回復のための運動・摂食療法などを実施。

維持（再発・転移）

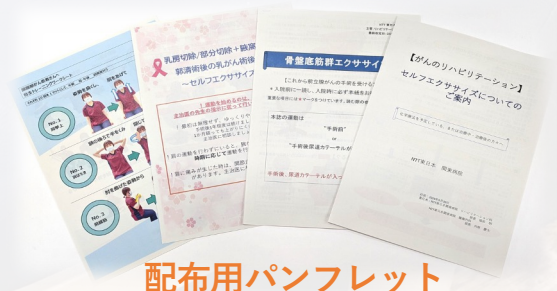
- 手術後、化学療法や放射線療法中の廃用症候群の予防。
- 運動継続のためのパンフレットの配布。

緩和

- 身体的、心理的、社会的にADLやQOLを維持できるような支援を実施。

周術期介入の一例

周術期介入の一例



配布用パンフレット